学校だより

はと広場

教育目標　進んで学び　高め合う　北小の子
あかるく　なかよく　すこやかに

８月号　令和８年８月２６日　NO.５
さいたま市立北浦和小学校
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和２丁目１８－３
電話 048-831-2463　FAX048-835-1352
【児童数】 804 名　【学級数】29 学級

夏の思い出　～自然との対話～

校長　引間　陽子



「熊本地震」「千葉豪雨」等、災害の畏怖を強く感じざるを得ない夏であった今年。酷暑だけでない、自然の猛威を感じます。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ謹んでお見舞い申し上げます。

夏休みというと、子どもたちは「帰省」だけでなく、旅行、合宿等、普段の生活をしている家庭から飛び出して、外の場所で沢山の思い出を作ってきていることだと思います。そして、子どもたちは、その際、自然の多い環境で過ごす機会にも恵まれ、多くの素敵な体験をしているのではと思います。

私も幼少期の夏休みの思い出は深く心に刻まれ、どの出来事もワクワクの度合いが高く、家族で出かけたこと、いつもと違う味わいの体験等、今となると、一つ一つが魅力的な思い出となっているような気がします。私にとっては、ほんのちょっとしたお盆のお墓参り一つとっても、例年の楽しみなイベントとなっていました。夕方、田舎に集まった親戚の子どもたちと野草を採って虫や鳥の声を聴きながら進んでいく田んぼ道はドキドキワクワクしたものでした。野草の名前を覚えたり川のせせらぎの音を楽しんだりしたことは、心に深く残る夏の思い出となっています。今夏に家の掃除をしていた最中に小学一年生の時に書いた日記を発見。読んでみたら、「七月二十日　いなかにいって、川であそんだりおるがんであそんだり大きい川でさかなをとったりしておうちでじどうしゃにのったりします」と書かれていました。続けて小学六年生の時の日記。「蓼科に行った。岩がごろごろしていてとても大変だった。土砂崩れのあったところもあった。植物がたくさんはえていた。白樺湖や女神湖も見えた。マツムシソウや白のヤナギランなど、咲いていた。急な坂はとっても怖かった。頂上に着くまで１時間半かかった。帰りもはいつくばいながら下った。ツカレター！」幼い文に恥ずかしくなったり自然との対話を感じたりしました。自然の偉大さも自然の脅威も、自然の影響力を強く感じた今年の夏は様々な思いを巡らしました。

２学期は学校行事も多い学期です。一つ一つの活動のめあてを明確にして、子どもたちの力を付けていきたいと考えます。保護者の皆様、地域の皆様、今学期もよろしくお願いいたします。

市からのお知らせ　＜さいたま市人権政策男女共同参画課＞

さいたま市では「さいたま市インターネット上の誹謗中傷等に係る相談（愛称：さいたま市ネット安心相談）」窓口を開設しております。相談窓口では、インターネット上の掲示板やＳＮＳに書き込まれた誹謗等によって悩みを抱える方の相談ばかりでなく、自ら発信した情報が誹謗中傷になってしまうのではと心配する方の相談にも対応しております。ひとりで悩まず「さいたま市ネット安心相談」をご利用ください。

1　相談日　　月曜日から金曜日　※祝日、休日、及び年末年始を除く
2　対　象　　市内在住、在勤、在学、または市内で活動している方
3　相談内容　インターネット上での悪口を言われたなどのお悩み
4　相談方法　電話「0120-550-955」による相談（18 時から 20 時）
　　メールフォームでの相談　市ＨＰ「さいたま市ネット安心相談」
　　からメールフォームにアクセスしてご利用ください。

二次元コード